

埼 葛 退 職 校 長 会 会 報

第 49 号

平成28年 7 月 発 行

発 行 責 任 者
山 根 和 夫

会 長 就 任 に 当 っ て

埼 葛 退 職 校 長 会

会 長 山 根 和 夫

去る五月一四日、定期総会において、ご推挙をいただき奇しくも会長に就任いたしました山根和夫でございます。副会長落合三郎先生、相澤勝寿先生、事務局長を兼務した橋本久雄先生、監事の高橋潔先生、中島新太郎先生、そして事務局の皆さんと共に力を合わせて、精一杯努力をさせて頂く所存でございます。会員の皆様方の温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

精神的な活動で大きな実績を重ねて来られました前会長卯木郁朗先生の後を引継ぐ荷の重さをひしひしと感じる毎日です。特に、六月三日の「埼玉県退職校長会定期総会」では、現役の時と変わらない行動力、指導力を発揮、驚くようなお姿でした。このような実施委員長の下、開催地越谷の役員として構想の段階から係わりを持たせていただき、もの見方、捉え方等々多くのことを学ぶことができました。また、会場担当として一方的なお願いばかりしてまいりましたがグループ責任者の各市町会長様、担当責任者の先生方、実施委員の先生方皆様には温かいご指導とご支援により無事終えることができました。心より感謝申し上げます。特に、準備の段階から当日までお一人お一人の心温まる取り組み、特に、皆様の創意工夫により素晴らしい大会となりました。参会者の皆様のおふれた笑顔がその証だと思えます。

この大きな大会を終えて得たことは、人と人との絆ではないでしょうか。この絆をより深め、お一人お一人が生きがいを感じられるより魅力ある埼葛退職校長会にしたいと考えます。今後とも、皆様のご理解とご支援を重ねてお願い申し上げます。私の就任の挨拶とさせていただきます。

特 集

新会員一人一言
定期総会
長寿会員紹介

二 年 間 を 回 顧 し て

埼 葛 退 職 校 長 会

前 会 長 卯 木 郁 朗

を伝えたく、「埼葛ニュースレター」を発刊いたしました。「理事研修」を全会員対象の「埼葛研修」に改め、さらに各市町の特長ある文化施設や偉人等に学ぶ機会として市町企画の「市町研修」を実施いたしました。また、埼葛地区教育長協議会会長さんを表敬訪問し、退職校長先生方の再雇用をお願いいたしました。市町PTA会長さんに「彩の国教育の日」協賛事業への参加を依頼し、参加を頂きました。さらに、健康増進・親睦を図るため、歴史散歩、ゴルフ、写真の三つの同好会を発足させることができました。これらの諸活動が、本会の活性化の一助となることを願っております。加えて、埼玉県退職校長会定期総会の担当支部として、三二六名の先生方をお迎えして、盛況裏に終わることが出来ました。ひとえに、多くの実施委員方のご協力に感謝申し上げます。結びに、この二年間、関係機関・団体の方々をはじめ、役員・会員の皆様の大々なご指導・ご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。ご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

平成二八年度 定期総会

平成二八年度の定期総会が、五月一四日(土)、春日部市視聴覚センターで開催された。

一 開会のことば 小澤嘉一 副会長

二 国歌斉唱 指揮 萩原征而

三 黙祷 ご逝去された二一名の 会員及び熊本地震で亡く

なられた方々を悼み黙祷

四 会長あいさつ 卯木郁朗 会長

五 新会員紹介 三〇名の紹介

六 新会員代表あいさつ 保坂不二夫

七 三宅 隆志

七 議事

(一) 平成二七年度 事業報告並びに決算・監査報告 承認

(二) 役員改選について 承認

新役員 承認

代表あいさつ 山根和夫 会長

(三) 平成二八年度 努力点・事業計画(案)並びに予算書

(案) 審議

。努力点7に「埼葛退職校長会50周年記念事業の準備を進める」を加える。承認

。事業計画の「会員研修」の事業名を「埼葛研修」と呼称

を変更する。承認

承認

承認

承認

承認

承認

承認

承認

四 平成二八年度「彩の国教育の日」協賛 埼葛地区現職・退職校長教育推進協議会の開催について ……別頁

五 平成二八年度 埼玉県退職校長会定期総会について

期日 六月三日(金)

会場 越谷市越谷コミュニティセンター

八 長寿会員祝賀 米寿 八名 喜寿 一五名

九 感謝状贈呈 二〇名

代表挨拶 小澤嘉一前副会長

一〇 来賓祝辞

埼玉県退職校長会 清水章夫 会長

東部教育事務所 鎌田 亨 所長

埼葛地区教育長協議会 植竹英生 副会長

一一 来賓紹介

埼玉小学校長会 増田芳彦 会長

埼玉中学校長会 松崎直臣 会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

山根和夫 新会長

埼玉退職校長会

飯田 弥壽嗣 顧問

二 閉会のことば

落合三郎 副会長

右から 橋本久雄・落合三郎・相澤勝寿各新副会長

各専門部会・合同部会

本年度の事業計画等を検討するため、各専門部会・合同部会が開催された。

一 日時 五月二六日(木)

二 会場 春日部市視聴覚センター

三 出席者 山根会長、落合・相澤副会長、福利厚生部・研究調査部・広報部各部長・部員、事務局長・局員

四 内容

山根会長より、「退職校長会の活性化に向け一層の取り組みをお願いしたい」との方向性が示された。

各部員の自己紹介の後、各部会の事業計画についての協議が行われた。

① 福利厚生部

市町研修 六月二三日(木)

三郷放水路、排水機場所見学

三郷市退職校長会と合同で実施

・会員研修 一〇月二七日(木)

佐原市の街並み・房総の村の見学等

・県福利厚生部への協力

ゴルフ大会・囲碁大会参加

② 研究調査部

・県退職校長会研究調査部への協力

力一再就職・待遇に関する調査をし、調査結果は二九年四月の県退職校長会会報に掲載予定。

・「社会貢献活動」の実施調査

一〇月に調査用紙発送、二九年一月に研究部でまとめ、四月理事会にて結果の配布。

③ 広報部

・会報49号(七月)・50号(十一月)発行について、49号は定期総会、新会長の挨拶、新会員の一言等、50号は現職・退職校長教育推進協議会、各地区の退職校長会の活動報告等。

・二ユースレターの発行

5号(九月)・6号(十一月)発行。

・県広報誌の執筆協力は、各市町の会長に執筆者の推薦を依頼し、執筆者を決定報告。

・埼葛退職校長会五〇周年記念誌発行について、拡大編集委員会を設置して方針の検討。

市町研修報告

福利厚生部長 萩原 征而

一 実施日 六月二三日(木)

二 研修箇所 関東地方建設局・

江戸川河川事務所・三郷出張所

三 参加者 四五名

四 研修テーマ 三郷放水路と三

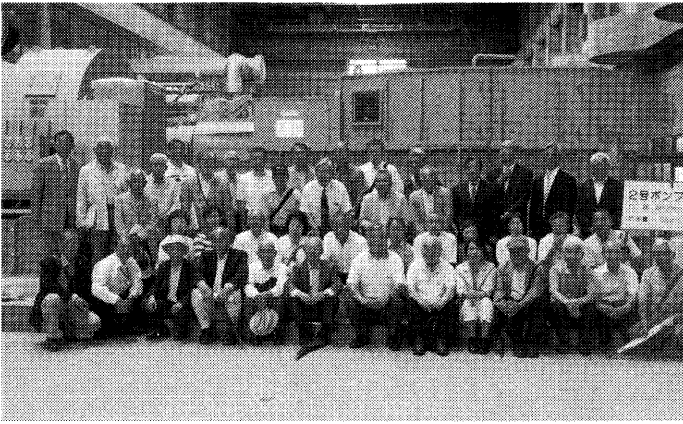
郷排水機場の意義と役割と水害

との戦いの歴史を踏まえて

五 研修内容 開会行事に続いて、

三郷出張所長 大西実氏から、

この地域は水のたまりやすい地形をしているので数多くの水害を経験してきたこと。中川と江戸川を結ぶ放水路の役割は①洪水防御、②水質汚濁対策、③濁水対策、があること。これ等を豊富な資料と映像による説明と



講話を頂く。その後、三グループに分かれて操作室・エンジン室等、排水機場内外の施設を見学。毎秒五〇mの排水機能を誇るポンプの実演は迫力がありました。最後に全員の集合写真撮影を行い解散となりました。

今回の研修では三郷市退職校長会の皆様方には研修箇所の選定から当日の運営まで大変なご尽力を、また大西所長様や所員の方々にはご配慮とご協力を頂きました。

当日はあいにくの小雨日和でしたが大勢の会員の参加で充実した研修とすることができました。